

授業概要

社会生活を送っていく上で、日本語で相手に自分の言いたいことを正しく伝えられるかどうかは非常に重要である。分かりやすい日本語とはどんなものか、自分の意見を分かりやすく表現するにはどうすればいいか、これからの社会生活で必要になるとと思われる基本的なコミュニケーション能力を身につけ、向上させられるよう、講義ならびに実践練習を行う。

授業計画

第1回	日本語の特徴を考える
第2回	主語と述語のねじれ
第3回	あいまいな修飾関係
第4回	呼応の間違い
第5回	尊敬語、謙譲語、丁寧語
第6回	漢字の知識
第7回	原因・結果・理由①
第8回	原因・結果・理由②
第9回	接続語を正しく使う
第10回	報告文書を作る
第11回	依頼文書を作る
第12回	主張と具体例
第13回	反論を想定した主張
第14回	対比の構造
第15回	授業のまとめと期末試験について
第16回	筆記試験

到達目標

分かりやすい日本語を使って、事実の報告や自分の主張を正しく相手に伝えることができるようになる。そのために筋道の立ったものの考え方ができるようになる。

履修上の注意

講義形式ではあるが、授業の中で実際に文章を作ってもらう場面が多くあるので、積極的に臨んでもらいたい。日本語話者であれば、特に前提となる知識は必要としない。

予習・復習

授業の最後に、その回の授業の内容に関係した課題を提示し、授業内に提出してもらおう。次の授業でその内容を振り返るので、自分の書いた内容については記憶にとどめておいてもらいたい。また、授業内容は積み上げ式のものなので、一回一回の授業をきちんと自分のものにしておくこと。

評価方法

期末試験によって成績をつける（100%）。期末試験は、事前に提示した課題に添った作文を含む。また、授業を通して発見したこと、あるいは疑問に思ったことなどを自由に書いてもらう設問を含む予定である。

テキスト

プリントを作成して配布する。